

令和4年度 川西町健康づくり推進協議会

日時：令和4年10月26日（水）14:00～15:30

場所：川西町保健センター 集団指導室

【次第】

1. 開会
 2. 案件
 - (1) 令和3年度保健事業の活動報告について
 - (2) 健康かわにし21計画等策定委員会
 3. 閉会
-

【出席者】 委員 14 名（欠席 1 名）、事務局 7 名

【内 容】

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議題
 - (1) 令和3年度 保健事業報告
新型コロナワクチン接種の進捗について報告
 - (2) 健康かわにし21計画等策定委員会
第2次計画評価の最終報告
第3次計画に向けた課題について
4. 質疑応答及び意見交換
5. 閉会

質疑応答及び意見交換

(会長) (質問がないため、意見をうかがう。)

(委員)

ふれあい弁当は、高齢者の方が楽しみにしている。献立を考え、密にならないよう、スタッフを少なくしたため、品数が少なくなった。天ぷら、結崎ネブカのぬた和えなど本当に喜ばれた。今回は、そばろ弁当にした。あまり飛びつくようなお弁当ではなかったが、好評だった。3月には、ちらし寿司を作り、品数は少ないが、待っておられる高齢者の顔を浮かべたら、私たちも頑張れた。地産地消と言われているが、結崎ネブカはおくやまの時は、案外あったが、お店が変わってからあまり出ていない。

(委員)

商工会としての取り組みは、川西町のブランド力を上げたいという一環で結崎ネブカの普及がある。結崎ネブカを食せる場所というのも、飲食店の方もコロナ以降非常にタイト。何とかこの川西町で結崎ネブカを販売できないかなということもあり、今後の課題ということで取り組んでいきたい。行政の力も必要である。

(委員)

婦人会で購入する場合は、農協を通じて大量に仕入れていたが、自分で食べたいと思ったときにできないなと思っていた。

日赤のモデル事業で見学した際、被災時は、やはり温かいものが欲しいと感じた。湯の中にビニールを入れ、お米を炊いたりするなど、被災時には、その場で温かいものを提供していきたい。

身体活動は、週に1回している。コロナ禍の一番大変な時は休んだが、高齢者の方や地域に出ていけない方は、楽しみにしている。今は、100歳体操をしている。

昨日、たまたま保健師から誤嚥予防のお口の体操、歯医者に行ったら歯を治す、歯がないと困るという話をきいた。クッキーを食べたときに唾液が出ていない人もいた。唾液が出るような体にするのは難しいが、唾液が出ないことは大変である。これからは、お口の体操、かみかみ体操をしていかなければならない。

(委員)

食育活動の中で、歯の内容を工夫し整理することが課題。コロナ禍2年間で、取り組み方を工夫した。食育の大切さに関しては、調査結果の通りである。先日、畑でとれたサツマイモを、子どもたちが調理するというのではなく、園の職員が調理し、園児はいただくことで活動を考えた。

他7項目に関しては、おおむね身体づくりや健康増進にある。調査結果において、各家庭で取り組みにくいことに関しては、園の集団の中で学び、活動できるということを踏まえて大切に組みたい。

(委員)

コロナ禍で思うよう活動できないが、健康ウォーキングを実施することができた。また、広報に載せるレシピの調理を実施することができた。週に1度、保健センターで1時間ほど体操教室をしている。30名程の方が参加している。8月と9月は中止したが、10月から再開している。